

質問通告書

次の件について質問の通告をいたします

令和7年11月11日

質問者氏名 杉森 弘之 印

牛久市議会議長 殿

質問形式		一括方式
	○	一問一答方式

質問事項	要旨
1、多文化共生と外国人材の確保・支援について	<p>(1) 牛久市在住の外国人について 牛久市人口と外国人数の推移 30年前・15年前・現在、国籍、年齢構成、</p> <p>(2) 東日本入国管理センターの役割、現状、市との関係</p> <p>(3) 茨城県外国人材適正雇用推進宣言制度 申出者数、企業・個人の傾向、目的</p> <p>(4) 茨城県外国人受入優良企業等認定制度 ・市内企業の申請・認定数 ・認定診断ツール 2つのステップ 30問の中から 8点について 市と企業・外国人労働者の係わりの現状と今後の考え方 ①労働法令の遵守 ②対外情報発信 ③異文化理解促進 ④宗教的配慮 ⑤保育・教育、医療等の情報提供や手続き等の支援 ⑥住居探しのサポート ⑦行政等による外国人相談窓口等の生活支援に係る情報提供 ゴミ出しのルールや災害時対応等の定期的な確認・説明 ⑧外国人労働者が地域社会での行事や活動に参加する機会 ・先進企業認定基準 外国人の役員・管理職採用、市内の状況</p> <p>(5) 外国人の職員採用と職務制限 (韓国籍の東京都職員の管理職選考受験差別に対する 1996 地裁、1997 高裁、2005 最高裁判決)</p> <p>(6) 多文化共生推進条例の検討状況 宮城県、滋賀県湖南市、古河市 (誰一人取り残さない包摂社会の実現)</p> <p>(7) 外国人材の確保・支援に関する条例の検討状況 奈良県、島根県飯南町、また愛知県国家戦略特区は創業人材の受け入れに係る出入国管理及び難民認定法の特例を始め 2つの特例措置等を区域計画に追加・変更 (外国人起業家の受け入れを推進)</p>